

2023年4月・GWのDATASALAD 宿泊稼働指数

～上昇から踊り場局面に

2023年5月10日

公益財団法人九州経済調査協会 事業開発部

九経調 DATASALAD (<https://datasalad.jp/>) では、景気、産業、社会に関する政府統計に加え、人流や求人等のビッグデータ・オルタナティブデータを、地域の景気や産業の動向を分析する指標として加工、可視化している。

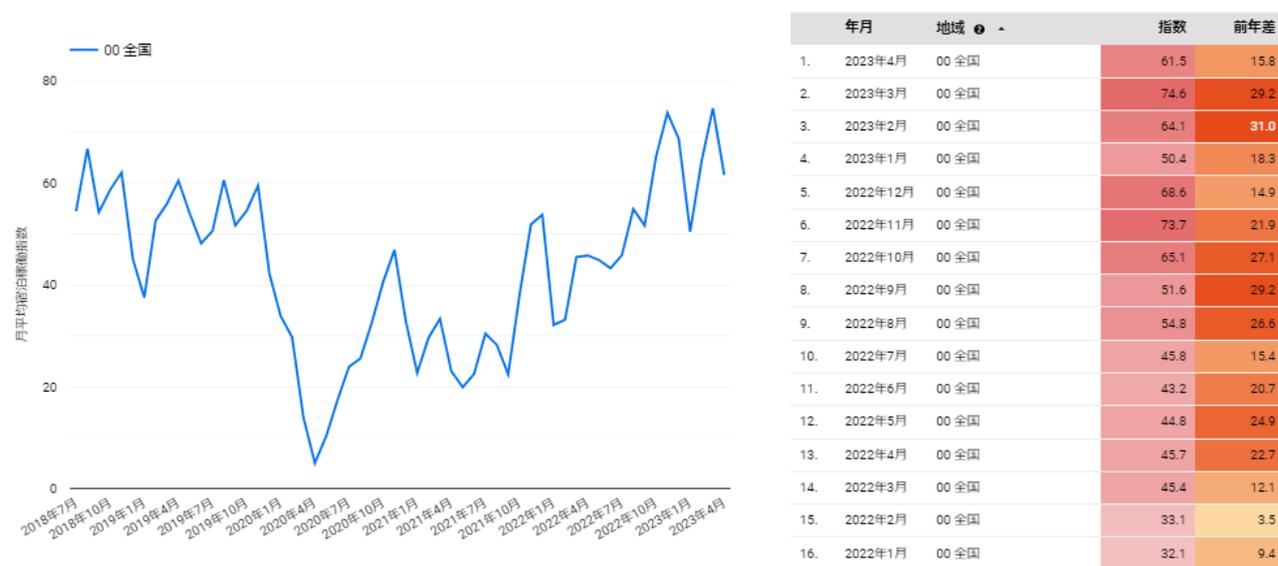
本稿では、当会が宿泊予約サイトより取得したデータをもとに算出している「宿泊稼働指数¹」を活用し、2023年4月における宿泊施設の稼働動向を分析する。

1. 全国の宿泊稼働指数：3カ月ぶりに低下

2023年4月における全国の宿泊稼働指数は61.5で、前月の74.6を下回り、3カ月ぶりに低下した(図1)。例年4月は、春休みシーズンからゴールデンウィークの狭間にあたり、宿泊稼働率が前月より低下する傾向にある²。本年においても、インバウンドの回復は続くものの、国内需要に関しては、盛り上がりの題材に欠けたことから、低下に至ったと推測される。

前年差は+15.8ptとなり、上昇幅は前月より小さくなったものの、プラスでの推移が続いている。また2019年4月の指数は60.8であり、2023年の4月はおよそコロナ前並みの水準となっている。

図1 宿泊稼働指数の推移(全国)



注) 2023年5月9日時点の推計値 資料) 九経調 DATASALAD

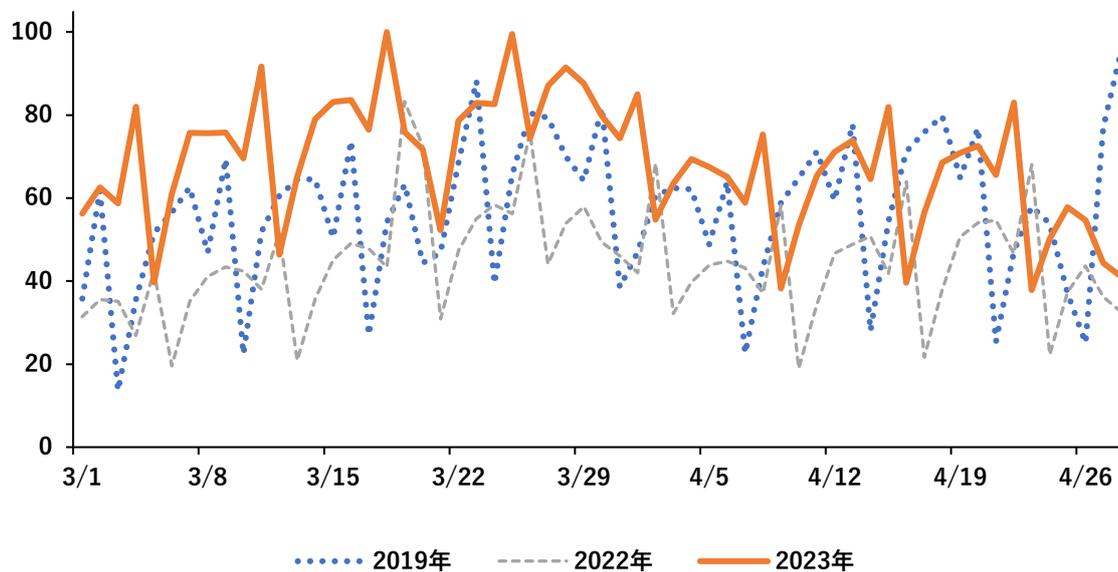
¹ 宿泊稼働指数は日次の空室の水準を指数化したもので、九経調が独自に推計。原数値は0から100の間の数値をとり、稼働状況が良い場合は100に、稼働状況が悪い場合は0に近づく。算出方法は「参考資料」を参照

なお、足下、従業員不足等の供給制約による稼働率低下が指摘されるなか、本指数が宿泊予約サイトの空室情報を基に算出している関係で、統計上の延べ宿泊者数・施設稼働率よりも上振れしている可能性に留意が必要である

² ただし2019年は、改元に係る長期連休により、前月からの上昇傾向がみられた

図2は、2019年、2022年、2023年の3～4月における日別宿泊稼働指数の推移を示している。2023年の3月までは2019年を大きく上回っていたのに対し、4月は平日後半や土曜日を中心に、2019年並みの水準となったことが読み取れる。

図2 直近2カ月の日別宿泊稼働指数の推移（全国）



注) 原数値 2023年5月9日時点の推計値

資料) 九経調 DATASALAD

2. 地域ブロック別の宿泊稼働指数：12地域全てで前月差マイナス

2023年4月の宿泊稼働指数を12の地域ブロック別にみると、南関東(69.1)や北関東(64.8)、九州(62.8)で高い傾向となった(表1)。

前年との比較では、東北を除く11地域で前年差がプラスになった。特に近畿(前年差+28.5pt)や沖縄(同+22.8pt)でプラス幅が大きい。

前月との比較では、12地域全てで前月を下回ったが、甲信越(前月差▲2.4pt)、東北(前月差▲4.5pt)、北陸(前月差▲4.8pt)などでマイナス幅が小さかった。なお九州は同▲17.7ptで3カ月ぶりのマイナスである。

表1 地域ブロック別宿泊稼働指数・前年差・前月差

	2022年	2023年	2023年	
	4月	3月	4月	前年差
全国	45.7	74.6	61.5	▲15.8
北海道	36.9	51.2	38.5	▲1.6
東北	62.1	66.1	61.6	▲0.5
北関東	63.5	73.0	64.8	▲8.2
南関東	50.6	81.2	69.1	▲18.5
甲信越	38.8	59.7	57.3	▲2.4
東海	43.1	68.4	51.5	▲8.4
北陸	39.7	56.0	51.2	▲11.5
近畿	33.1	73.5	61.6	▲28.5
中国	48.2	73.7	61.0	▲12.8
四国	45.9	75.2	55.7	▲9.8
九州	47.2	80.5	62.8	▲17.7
沖縄	31.2	67.4	54.0	▲22.8

注) 2023年5月9日時点の推計値 資料) 九経調 DATASALAD

表2 地域ブロック別宿泊稼働指数

< 指数順 >

年月	地域	指数	前年差
1. 2023年4月	C0032 南関東	69.1	18.5
2. 2023年4月	C0031 北関東	64.8	1.3
3. 2023年4月	C010 九州	62.8	15.6
4. 2023年4月	C007 近畿	61.6	28.5
5. 2023年4月	C002 東北	61.6	-0.5
6. 2023年4月	C008 中国	61.0	12.8
7. 2023年4月	C004 甲信越	57.3	18.5
8. 2023年4月	C009 四国	55.7	9.8
9. 2023年4月	C011 沖縄	54.0	22.8
10. 2023年4月	C005 東海	51.5	8.4
11. 2023年4月	C006 北陸	51.2	11.5
12. 2023年4月	C001 北海道	38.5	1.6

< 前年差順 >

年月	地域	指数	前年差
1. 2023年4月	C007 近畿	61.6	28.5
2. 2023年4月	C011 沖縄	54.0	22.8
3. 2023年4月	C004 甲信越	57.3	18.5
4. 2023年4月	C0032 南関東	69.1	18.5
5. 2023年4月	C010 九州	62.8	15.6
6. 2023年4月	C008 中国	61.0	12.8
7. 2023年4月	C006 北陸	51.2	11.5
8. 2023年4月	C009 四国	55.7	9.8
9. 2023年4月	C005 東海	51.5	8.4
10. 2023年4月	C001 北海道	38.5	1.6
11. 2023年4月	C0031 北関東	64.8	1.3
12. 2023年4月	C002 東北	61.6	-0.5

注) 2023年5月9日時点の推計値 資料) 九経調 DATASALAD

3. 都道府県別の宿泊稼働状況： 44 都道府県で前月差マイナス

2023年4月の宿泊稼働指数を47都道府県別にみると、東京都(74.2)や茨城県(72.5)、滋賀県(71.2)などで高水準となった(表3)。

前年差は、42都道府県でプラスとなり、京都府(前年差+43.8pt)、大阪府(同+28.3pt)、東京都(同+28.0pt)などでプラス幅が大きくなった。このほか、広島県、福岡県や沖縄県で上昇が顕著である。

前月との比較では、富山県(前月差+12.3pt)、岩手県(同+2.7pt)、長野県(同+1.3pt)の3県で前月を上回った一方、その他の44都道府県で前月を下回った。

表3 都道府県別宿泊稼働指数・前年差・前月差

	2022年	2023年	2023年				2022年	2023年	2023年		
	4月	3月	4月	前年差	前月差		4月	3月	4月	前年差	前月差
全国	45.7	74.6	61.5	15.8	▲13.1	三重県	45.4	70.0	39.2	▲6.2	▲30.8
北海道	36.9	51.2	38.5	1.6	▲12.7	滋賀県	56.3	78.3	71.2	14.9	▲7.1
青森県	60.0	68.8	68.7	8.7	▲0.1	京都府	21.4	72.1	65.2	43.8	▲6.9
岩手県	47.8	50.7	53.4	5.6	2.7	大阪府	37.6	76.5	65.9	28.3	▲10.6
宮城県	66.9	75.1	68.3	1.4	▲6.8	兵庫県	47.1	73.4	53.8	6.7	▲19.6
秋田県	65.7	65.1	64.7	▲1.0	▲0.4	奈良県	49.5	68.4	63.2	13.7	▲5.2
山形県	39.2	60.3	57.1	17.9	▲3.2	和歌山県	32.4	63.5	36.3	3.9	▲27.2
福島県	73.0	68.3	56.7	▲16.3	▲11.6	鳥取県	55.8	70.5	60.2	4.4	▲10.3
茨城県	70.2	76.2	72.5	2.3	▲3.7	島根県	42.2	71.7	60.8	18.6	▲10.9
栃木県	55.6	69.9	62.1	6.5	▲7.8	岡山県	48.8	74.4	56.7	7.9	▲17.7
群馬県	64.6	73.9	60.5	▲4.1	▲13.4	広島県	46.1	78.2	68.9	22.8	▲9.3
埼玉県	67.0	81.4	67.4	0.4	▲14.0	山口県	60.4	75.2	62.3	1.9	▲12.9
千葉県	51.4	77.7	54.4	3.0	▲23.3	徳島県	52.2	83.7	70.0	17.8	▲13.7
東京都	46.2	83.3	74.2	28.0	▲9.1	香川県	40.4	71.0	50.5	10.1	▲20.5
神奈川県	52.0	74.7	60.4	8.4	▲14.3	愛媛県	42.6	70.2	47.4	4.8	▲22.8
新潟県	38.2	53.6	52.3	14.1	▲1.3	高知県	58.0	84.1	67.6	9.6	▲16.5
富山県	50.6	47.1	59.4	8.8	12.3	福岡県	39.2	77.8	61.5	22.3	▲16.3
石川県	31.4	58.3	49.4	18.0	▲8.9	佐賀県	68.1	80.7	70.7	2.6	▲10.0
福井県	57.0	72.0	53.4	▲3.6	▲18.6	長崎県	55.8	81.4	67.5	11.7	▲13.9
山梨県	39.2	77.6	64.0	24.8	▲13.6	熊本県	50.0	83.1	64.9	14.9	▲18.2
長野県	41.4	58.7	60.0	18.6	1.3	大分県	50.1	85.8	62.5	12.4	▲23.3
岐阜県	52.1	69.8	52.8	0.7	▲17.0	宮崎県	50.3	76.2	56.8	6.5	▲19.4
静岡県	41.1	75.4	53.3	12.2	▲22.1	鹿児島県	54.4	86.6	70.0	15.6	▲16.6
愛知県	39.4	62.4	54.5	15.1	▲7.9	沖縄県	31.2	67.4	54.0	22.8	▲13.4

注) 2023年5月9日時点の推計値 資料) 九経調 DATASALAD

表4 都道府県別宿泊稼働指数ランキング

< 指数順・上位 >

年月	地域	指数	前年差
1. 2023年4月	13 東京都	74.2	28.0
2. 2023年4月	08 茨城県	72.5	2.3
3. 2023年4月	25 滋賀県	71.2	14.9
4. 2023年4月	41 佐賀県	70.7	2.6
5. 2023年4月	36 徳島県	70.0	17.8
6. 2023年4月	46 鹿児島県	70.0	15.6
7. 2023年4月	34 広島県	68.9	22.8
8. 2023年4月	02 青森県	68.7	8.7
9. 2023年4月	04 宮城県	68.3	1.4
10. 2023年4月	39 高知県	67.6	9.6
11. 2023年4月	42 長崎県	67.5	11.7
12. 2023年4月	11 埼玉県	67.4	0.4
13. 2023年4月	27 大阪府	65.9	28.3
14. 2023年4月	26 京都府	65.2	43.8
15. 2023年4月	43 熊本県	64.9	14.9
16. 2023年4月	05 秋田県	64.7	-1.0

< 前年差順・上位 >

年月	地域	指数	前年差
1. 2023年4月	26 京都府	65.2	43.8
2. 2023年4月	27 大阪府	65.9	28.3
3. 2023年4月	13 東京都	74.2	28.0
4. 2023年4月	19 山梨県	64.0	24.8
5. 2023年4月	47 沖縄県	54.0	22.8
6. 2023年4月	34 広島県	68.9	22.8
7. 2023年4月	40 福岡県	61.5	22.3
8. 2023年4月	20 長野県	60.0	18.6
9. 2023年4月	32 島根県	60.8	18.6
10. 2023年4月	17 石川県	49.4	18.0
11. 2023年4月	06 山形県	57.1	17.9
12. 2023年4月	36 徳島県	70.0	17.8
13. 2023年4月	46 鹿児島県	70.0	15.6
14. 2023年4月	23 愛知県	54.5	15.1
15. 2023年4月	25 滋賀県	71.2	14.9
16. 2023年4月	43 熊本県	64.9	14.9

< 指数順・下位 >

年月	地域	指数	前年差
1. 2023年4月	30 和歌山県	36.3	3.9
2. 2023年4月	01 北海道	38.5	1.6
3. 2023年4月	24 三重県	39.2	-6.2
4. 2023年4月	38 愛媛県	47.4	4.8
5. 2023年4月	17 石川県	49.4	18.0
6. 2023年4月	37 香川県	50.5	10.1
7. 2023年4月	15 新潟県	52.3	14.1
8. 2023年4月	21 岐阜県	52.8	0.7
9. 2023年4月	22 静岡県	53.3	12.2
10. 2023年4月	18 福井県	53.4	-3.6
11. 2023年4月	03 岩手県	53.4	5.6
12. 2023年4月	28 兵庫県	53.8	6.7
13. 2023年4月	47 沖縄県	54.0	22.8
14. 2023年4月	12 千葉県	54.4	3.0
15. 2023年4月	23 愛知県	54.5	15.1
16. 2023年4月	33 岡山県	56.7	7.9

< 前年差順・下位 >

年月	地域	指数	前年差
1. 2023年4月	07 福島県	56.7	-16.3
2. 2023年4月	24 三重県	39.2	-6.2
3. 2023年4月	10 群馬県	60.5	-4.1
4. 2023年4月	18 福井県	53.4	-3.6
5. 2023年4月	05 秋田県	64.7	-1.0
6. 2023年4月	11 埼玉県	67.4	0.4
7. 2023年4月	21 岐阜県	52.8	0.7
8. 2023年4月	04 宮城県	68.3	1.4
9. 2023年4月	01 北海道	38.5	1.6
10. 2023年4月	35 山口県	62.3	1.9
11. 2023年4月	08 茨城県	72.5	2.3
12. 2023年4月	41 佐賀県	70.7	2.6
13. 2023年4月	12 千葉県	54.4	3.0
14. 2023年4月	30 和歌山県	36.3	3.9
15. 2023年4月	31 鳥取県	60.2	4.4
16. 2023年4月	38 愛媛県	47.4	4.8

注) 2023年5月9日時点の推計値 資料) 九経調 DATASALAD

4. ゴールデンウィークの動向： 昨年並みの水準 四万十市・阿蘇市などで高い

2023年ゴールデンウィーク（4月29日～5月5日）の宿泊稼働指数（原数値の7日間平均）は全国で72.2となり、昨年の73.2とほぼ同水準となった。ただし、感染拡大前となる2019年同期間の86.3には及んでいない。

全国の主な市町村³で宿泊稼働指数が最も高かったのは四万十市（高知県）の97.4であった。このほか、藤棚で有名な「あしかがフラワーパーク」への来訪を目的とした宿泊者が多いとみられる、足利市（栃木県）や太田市（群馬県）も上位に位置している。

九州・沖縄・山口の主な市町村⁴で宿泊稼働指数が最も高かったのは阿蘇市（熊本県）で、以下由布市（大分県）、嬉野市（佐賀県）、下関市（山口県）、日南市（宮崎県）と続く。また、大津町（熊本県）、防府市（山口県）、苅田町（福岡県）など、製造業との関連が強い市町村での高指数も目立つ。

（参考資料として、P14・15に全国、九州・沖縄・山口のランキングを掲載）

表5 市町村別 2023年ゴールデンウィーク期間宿泊稼働指数（抜粋）

市町村	指数	市町村	指数	市町村	指数
札幌市	57.9	北佐久郡軽井沢町	70.1	京都郡苅田町	83.4
函館市	73.7	高山市	82.3	佐賀市	65.4
小樽市	64.9	熱海市	86.2	唐津市	85.1
千歳市	55.1	名古屋市	71.9	嬉野市	96.1
青森市	81.1	常滑市	63.7	長崎市	72.8
仙台市	84.7	伊勢市	82.1	佐世保市	81.4
米沢市	91.6	京都市	71.8	雲仙市	85.5
酒田市	91.2	大阪市	67.5	熊本市	78.9
会津若松市	91.5	神戸市	63.0	阿蘇市	98.3
土浦市	85.0	豊岡市	72.2	天草市	88.0
足利市	94.8	西牟婁郡白浜町	87.6	菊池郡大津町	90.7
佐野市	94.5	出雲市	92.9	大分市	70.2
日光市	90.8	倉敷市	67.7	別府市	84.8
那須塩原市	89.0	広島市	74.8	由布市	97.1
太田市	92.7	下関市	91.1	宮崎市	70.2
吾妻郡草津町	88.7	山口市	80.4	日南市	91.0
東京都特別区部	60.9	防府市	86.7	鹿児島市	79.7
横浜市	55.0	高松市	74.4	霧島市	82.7
足柄下郡箱根町	90.1	松山市	77.0	奄美市	58.8
新潟市	80.2	高知市	92.8	那覇市	51.2
金沢市	76.0	四万十市	97.4	石垣市	84.4
甲府市	89.0	北九州市	71.9	宮古島市	82.7
松本市	86.1	福岡市	74.1	国頭郡恩納村	77.4

注) 2023年5月9日時点の推計値 下線を含む市町村は2018年以降の全期間における最大空室数が300未満の市町村資料) 九経調 DATASALAD

渡辺 隼矢（事業開発部 研究主査）

E-mail: jwatanabe@kerc.or.jp

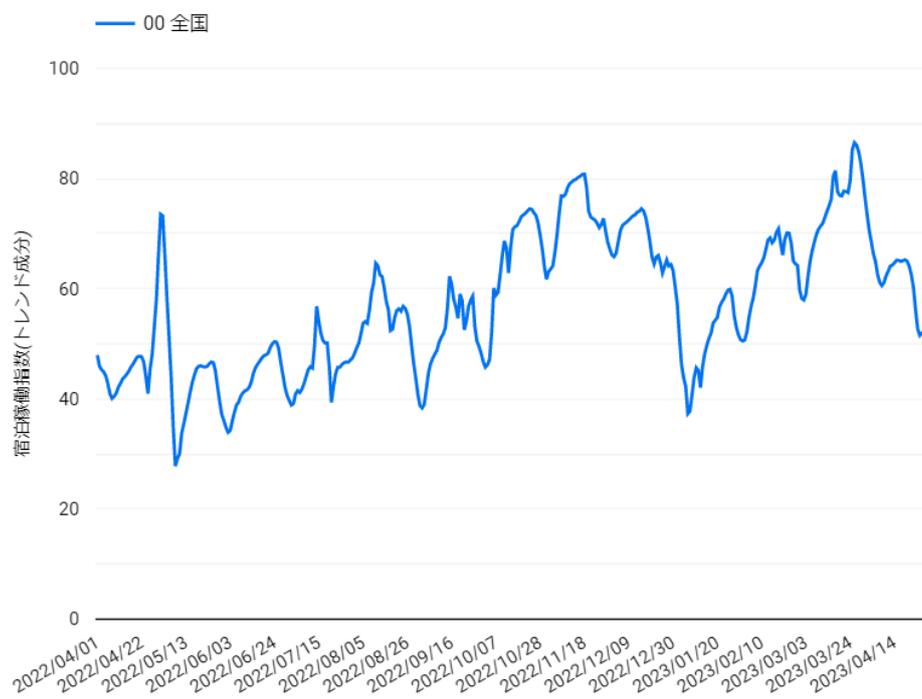
³ 2018年以降の全期間における最大空室数が300以上の市町村

⁴ 2018年以降の全期間における最大空室数が150以上の市町村（九州7県・沖縄県・山口県内）

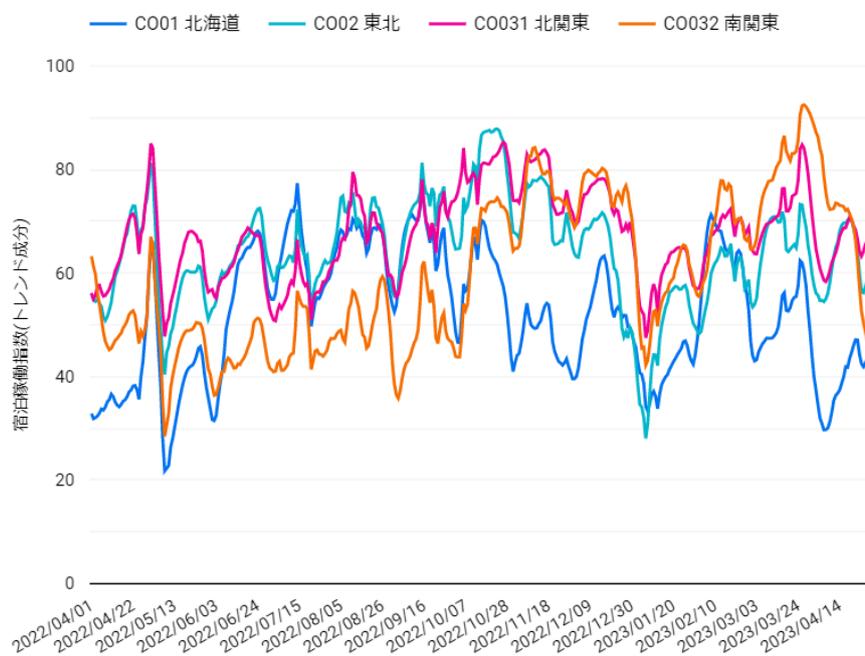
5. 参考：日次推移

図3 全国・地域ブロック別の日次推移（トレンド成分）

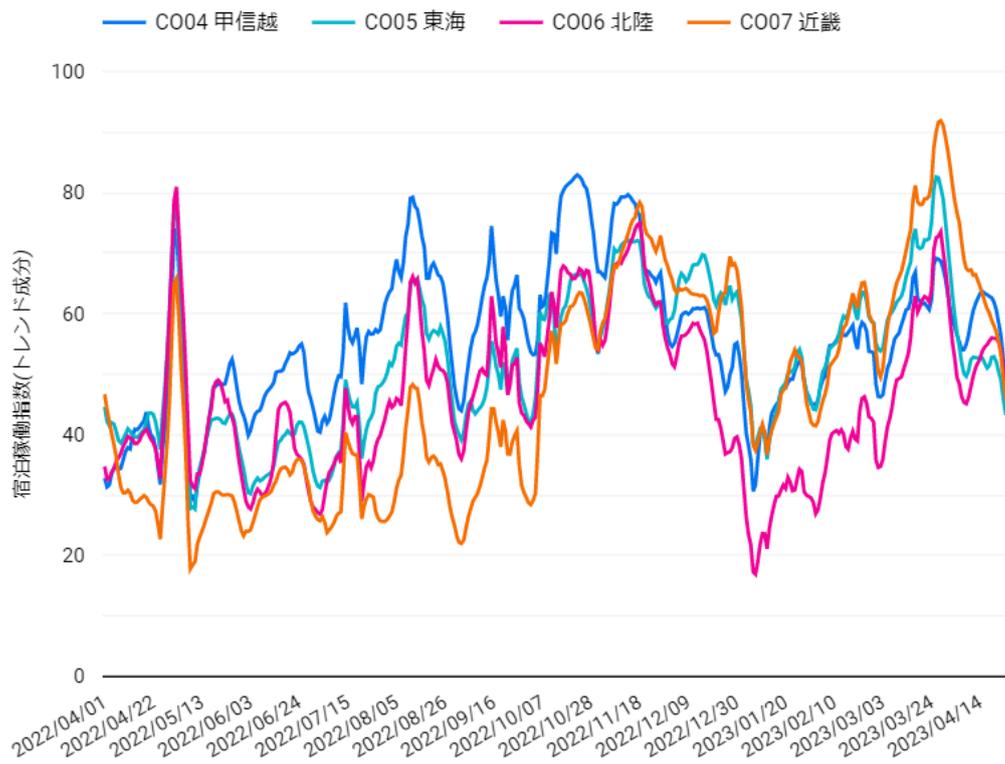
<全国>



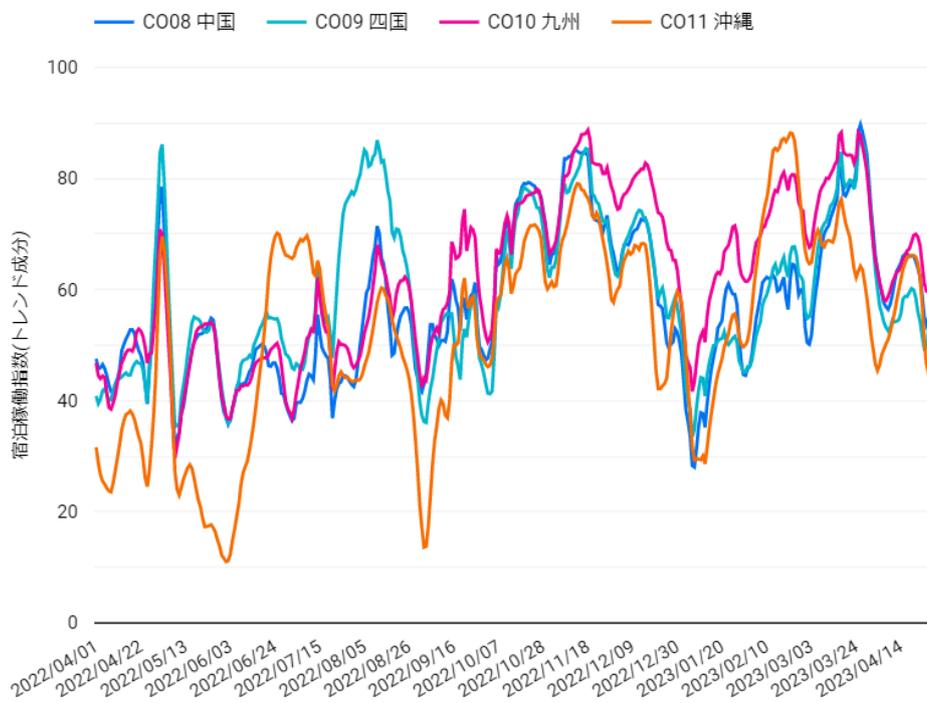
<北海道～南関東>



< 甲信越～近畿 >



< 中国～沖縄 >



注) 2023年5月9日時点の推計値 資料) 九経調 DATASALAD

参考資料

1. 宿泊稼働指数の算出方法

■日次（原数値）

$$100 - \left(\frac{\text{当日の空室数} - \text{当日を含む過去 730 日の最小空室数}}{\text{当日を含む過去 730 日の最大空室数} - \text{当日を含む過去 730 日の最小空室数}} \right) * 100$$

※当該地域において、宿泊施設が過去 365 日以上連続して立地・稼働していると判定される場合に限り算出

※空室情報の取得開始時期が 2017 年 7 月であるため、2018 年 7 月～2019 年 6 月については過去 365 日以上 730 日未満の最大・最小空室数より算出している

■日次（トレンド成分）

「日次（原数値）」を 7 日間周期のデータとみなして要因分解し、曜日要因・イベント要因（イベント・その他の特殊要因）を除いたもの

※「日次（原数値）」を 28 日分以上連続して算出可能に限り算出

■日次（トレンド+イベント成分）

「日次（原数値）」を 7 日間周期のデータとみなして要因分解し、曜日要因を除いたもの

※「日次（原数値）」を 28 日分以上連続して算出可能に限り算出

■月平均指数

「日次（トレンド+イベント成分）」を月ごとに単純平均したもの

※ある日のある地域において空室データが存在しない場合は、当日を含む前 14 日間かつ当日を含む後 14 日間において平均空室数が 0 より大きければ、当該地域において宿泊施設が連続して立地・稼働していると判定

※空室データの取得ができなかった日については、当日を含まない前 4 週間の同曜日の平均値により補間した上で要因分解を行っている

2. 緊急事態宣言発令に伴う対応

■休業施設を除いた特別集計

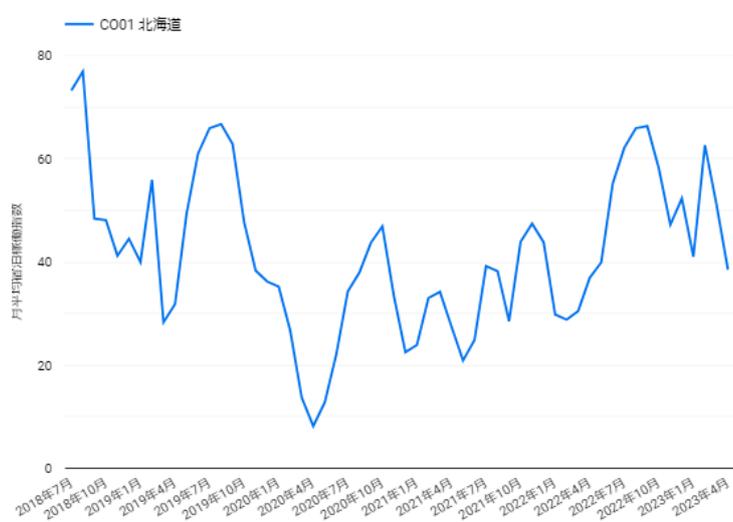
2020 年 4～5 月における緊急事態宣言の発令に伴い宿泊施設の休業がみられた。その影響がある 2020 年 4～6 月の宿泊稼働指数は、休業した宿泊施設を除くための処理を行って算出した。具体的には、2020 年 4 月に 20 日以上かつ 2020 年 5 月に 20 日以上空室が提供されている施設のみを対象に指数を算出した

■特別集計との接続

2021 年 4 月以降に発表している宿泊稼働指数は、全サンプルによる集計（2018 年 7 月～2020 年 3 月および 2020 年 7 月～）と上述の特別集計（2020 年 4 月～2020 年 6 月）を接続したものである。原数値を接続した上で、曜日調整をおこなっている

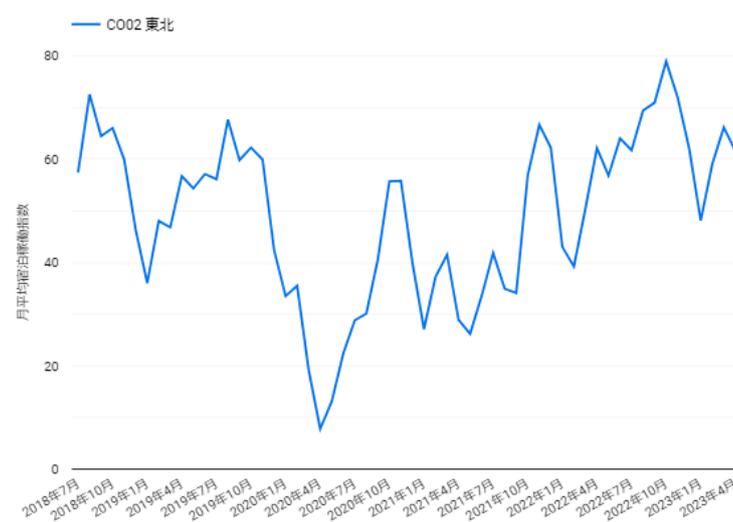
3. 地域ブロック別宿泊稼働指数の推移

<北海道>



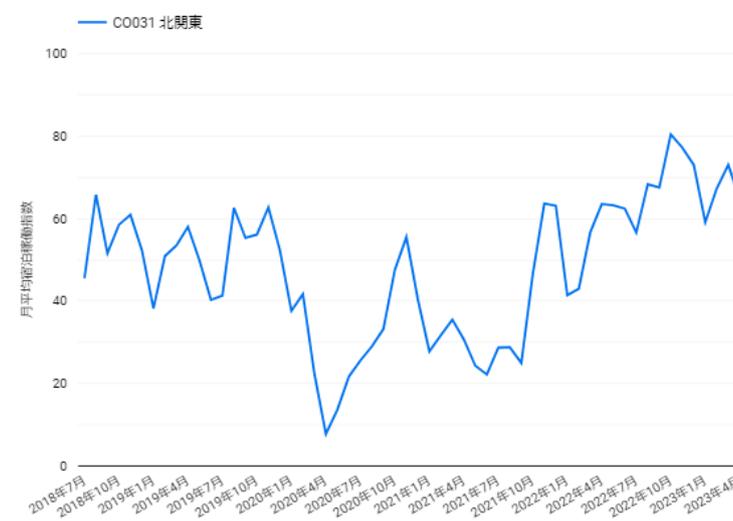
年月	地域	指数	前年差
1. 2023年4月	CO01 北海道	38.5	1.6
2. 2023年3月	CO01 北海道	51.2	20.7
3. 2023年2月	CO01 北海道	62.6	33.8
4. 2023年1月	CO01 北海道	41.0	11.2
5. 2022年12月	CO01 北海道	52.3	8.5
6. 2022年11月	CO01 北海道	47.2	-0.2
7. 2022年10月	CO01 北海道	58.1	14.2
8. 2022年9月	CO01 北海道	66.3	37.8
9. 2022年8月	CO01 北海道	65.9	27.7
10. 2022年7月	CO01 北海道	62.1	22.9
11. 2022年6月	CO01 北海道	55.2	30.3
12. 2022年5月	CO01 北海道	39.9	19.0
13. 2022年4月	CO01 北海道	36.9	9.4
14. 2022年3月	CO01 北海道	30.5	-3.7
15. 2022年2月	CO01 北海道	28.8	-4.2
16. 2022年1月	CO01 北海道	29.8	5.9

<東北>



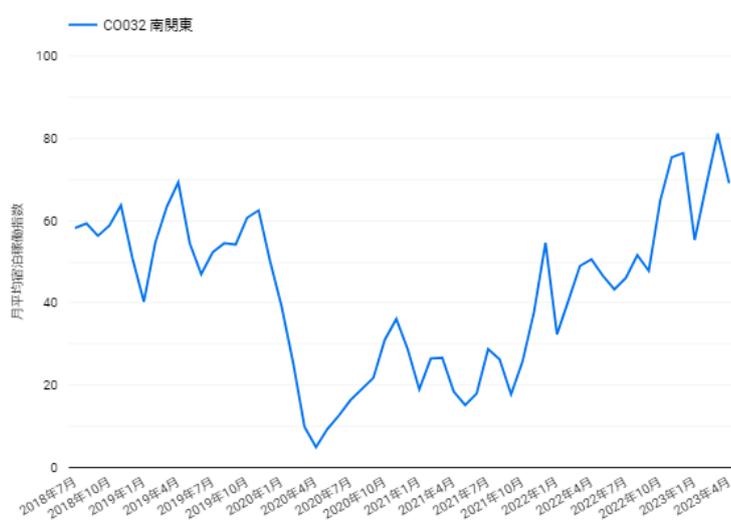
年月	地域	指数	前年差
1. 2023年4月	CO02 東北	61.6	-0.5
2. 2023年3月	CO02 東北	66.1	15.7
3. 2023年2月	CO02 東北	59.0	19.8
4. 2023年1月	CO02 東北	48.1	5.1
5. 2022年12月	CO02 東北	62.0	-0.2
6. 2022年11月	CO02 東北	71.9	5.3
7. 2022年10月	CO02 東北	78.9	22.0
8. 2022年9月	CO02 東北	70.9	36.8
9. 2022年8月	CO02 東北	69.4	34.5
10. 2022年7月	CO02 東北	61.7	19.9
11. 2022年6月	CO02 東北	64.0	30.5
12. 2022年5月	CO02 東北	56.8	30.6
13. 2022年4月	CO02 東北	62.1	33.2
14. 2022年3月	CO02 東北	50.4	8.9
15. 2022年2月	CO02 東北	39.2	2.0
16. 2022年1月	CO02 東北	43.0	15.9

<北関東>



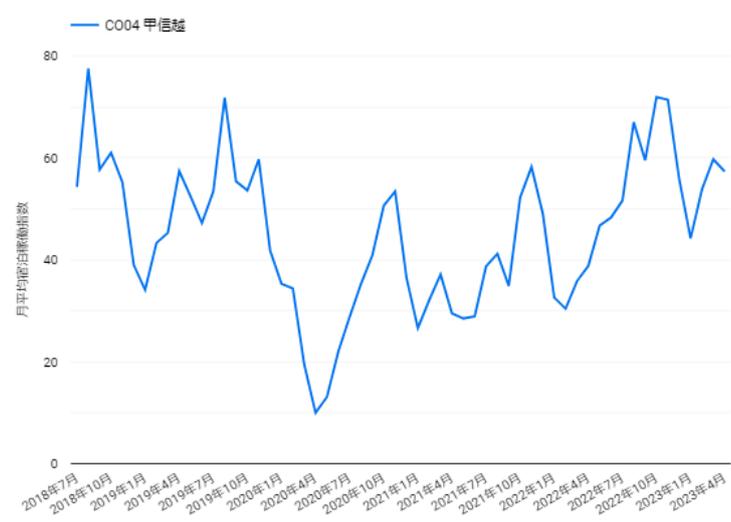
年月	地域	指数	前年差
1. 2023年4月	CO031 北関東	64.8	1.3
2. 2023年3月	CO031 北関東	73.0	16.3
3. 2023年2月	CO031 北関東	67.3	24.3
4. 2023年1月	CO031 北関東	59.1	17.7
5. 2022年12月	CO031 北関東	73.0	9.9
6. 2022年11月	CO031 北関東	77.2	13.6
7. 2022年10月	CO031 北関東	80.4	33.8
8. 2022年9月	CO031 北関東	67.5	42.5
9. 2022年8月	CO031 北関東	68.3	39.5
10. 2022年7月	CO031 北関東	56.6	27.9
11. 2022年6月	CO031 北関東	62.4	40.2
12. 2022年5月	CO031 北関東	63.2	38.9
13. 2022年4月	CO031 北関東	63.5	32.8
14. 2022年3月	CO031 北関東	56.7	21.2
15. 2022年2月	CO031 北関東	43.0	11.3
16. 2022年1月	CO031 北関東	41.4	13.6

< 南関東 >



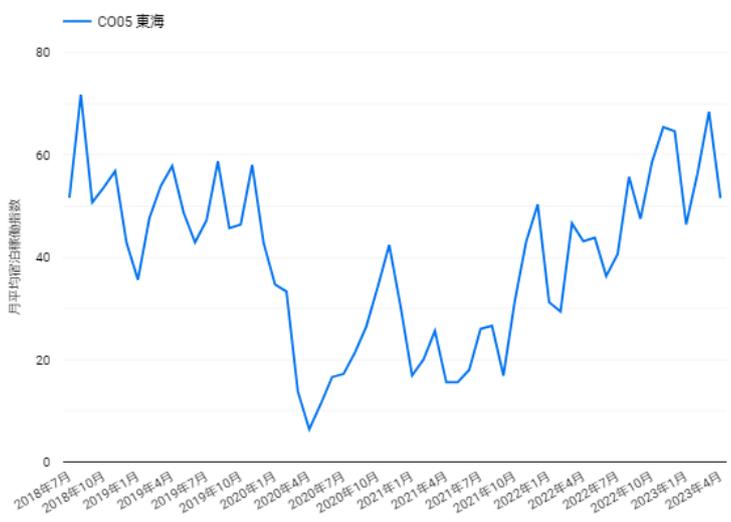
年月	地域	指数	前年差
1. 2023年4月	CO032 南関東	69.1	18.5
2. 2023年3月	CO032 南関東	81.2	32.2
3. 2023年2月	CO032 南関東	68.5	27.9
4. 2023年1月	CO032 南関東	55.3	22.9
5. 2022年12月	CO032 南関東	76.4	21.8
6. 2022年11月	CO032 南関東	75.4	37.6
7. 2022年10月	CO032 南関東	64.9	39.1
8. 2022年9月	CO032 南関東	47.8	30.0
9. 2022年8月	CO032 南関東	51.6	25.3
10. 2022年7月	CO032 南関東	46.1	17.3
11. 2022年6月	CO032 南関東	43.3	25.3
12. 2022年5月	CO032 南関東	46.6	31.4
13. 2022年4月	CO032 南関東	50.6	32.1
14. 2022年3月	CO032 南関東	49.0	22.3
15. 2022年2月	CO032 南関東	40.6	14.1
16. 2022年1月	CO032 南関東	32.4	13.4

< 甲信越 >



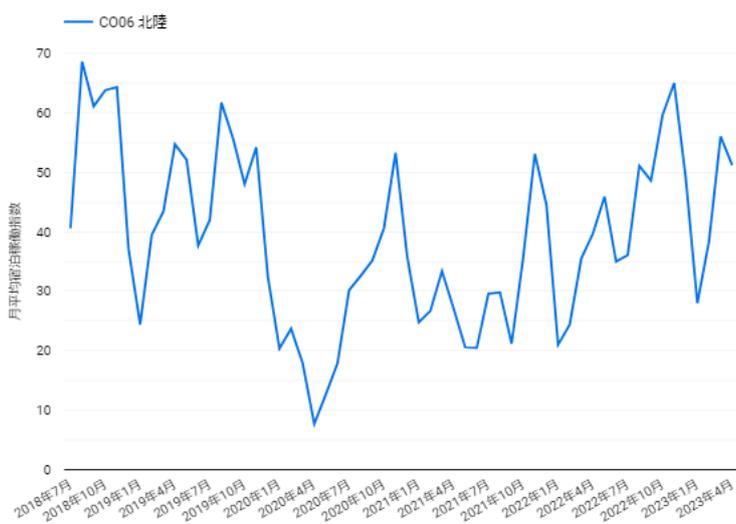
年月	地域	指数	前年差
1. 2023年4月	CO04 甲信越	57.3	18.5
2. 2023年3月	CO04 甲信越	59.7	23.9
3. 2023年2月	CO04 甲信越	53.8	23.4
4. 2023年1月	CO04 甲信越	44.2	11.6
5. 2022年12月	CO04 甲信越	55.8	6.8
6. 2022年11月	CO04 甲信越	71.4	13.2
7. 2022年10月	CO04 甲信越	71.9	19.7
8. 2022年9月	CO04 甲信越	59.5	24.6
9. 2022年8月	CO04 甲信越	67.0	25.8
10. 2022年7月	CO04 甲信越	51.6	12.9
11. 2022年6月	CO04 甲信越	48.3	19.4
12. 2022年5月	CO04 甲信越	46.7	18.2
13. 2022年4月	CO04 甲信越	38.8	9.3
14. 2022年3月	CO04 甲信越	35.8	-1.3
15. 2022年2月	CO04 甲信越	30.4	-1.7
16. 2022年1月	CO04 甲信越	32.6	6.0

< 東海 >



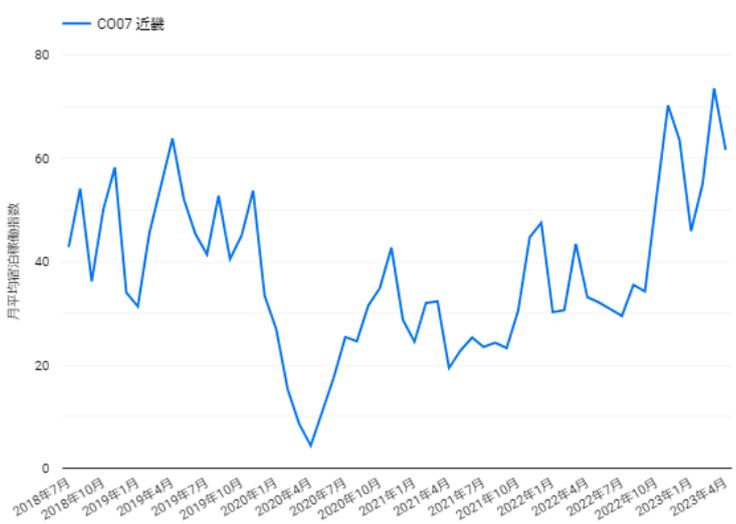
年月	地域	指数	前年差
1. 2023年4月	CO05 東海	51.5	8.4
2. 2023年3月	CO05 東海	68.4	21.8
3. 2023年2月	CO05 東海	56.4	27.0
4. 2023年1月	CO05 東海	46.4	15.2
5. 2022年12月	CO05 東海	64.6	14.3
6. 2022年11月	CO05 東海	65.4	22.3
7. 2022年10月	CO05 東海	58.5	27.0
8. 2022年9月	CO05 東海	47.5	30.6
9. 2022年8月	CO05 東海	55.7	29.1
10. 2022年7月	CO05 東海	40.6	14.6
11. 2022年6月	CO05 東海	36.3	18.3
12. 2022年5月	CO05 東海	43.8	28.2
13. 2022年4月	CO05 東海	43.1	27.5
14. 2022年3月	CO05 東海	46.6	21.0
15. 2022年2月	CO05 東海	29.4	9.4
16. 2022年1月	CO05 東海	31.2	14.3

<北陸>



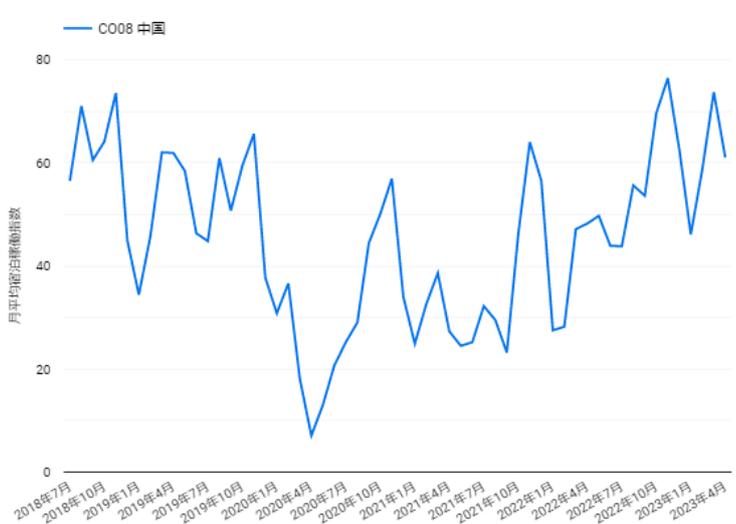
年月	地域	指数	前年差
1. 2023年4月	CO06 北陸	51.2	11.5
2. 2023年3月	CO06 北陸	56.0	20.5
3. 2023年2月	CO06 北陸	38.4	14.0
4. 2023年1月	CO06 北陸	28.0	7.0
5. 2022年12月	CO06 北陸	49.0	4.5
6. 2022年11月	CO06 北陸	65.0	11.9
7. 2022年10月	CO06 北陸	59.6	23.9
8. 2022年9月	CO06 北陸	48.6	27.4
9. 2022年8月	CO06 北陸	51.1	21.3
10. 2022年7月	CO06 北陸	36.1	6.5
11. 2022年6月	CO06 北陸	35.0	14.5
12. 2022年5月	CO06 北陸	45.9	25.3
13. 2022年4月	CO06 北陸	39.7	12.6
14. 2022年3月	CO06 北陸	35.5	2.1
15. 2022年2月	CO06 北陸	24.4	-2.3
16. 2022年1月	CO06 北陸	21.0	-3.8

<近畿>



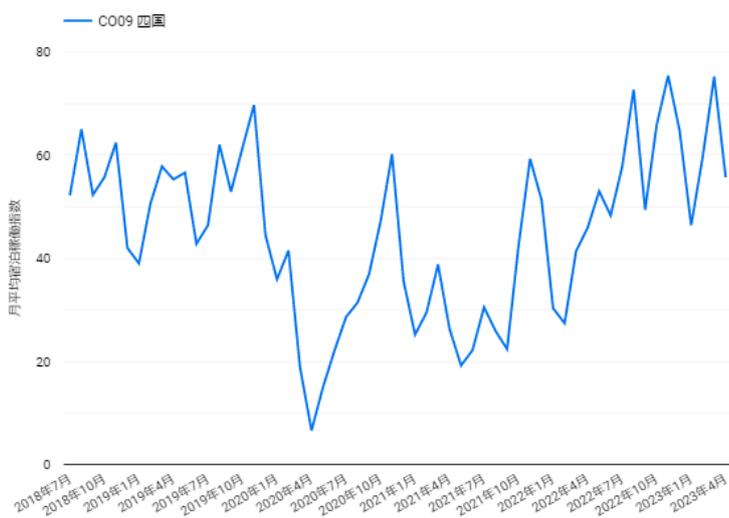
年月	地域	指数	前年差
1. 2023年4月	CO07 近畿	61.6	28.5
2. 2023年3月	CO07 近畿	73.5	30.1
3. 2023年2月	CO07 近畿	55.0	24.4
4. 2023年1月	CO07 近畿	45.9	15.7
5. 2022年12月	CO07 近畿	63.5	16.0
6. 2022年11月	CO07 近畿	70.2	25.5
7. 2022年10月	CO07 近畿	52.5	22.0
8. 2022年9月	CO07 近畿	34.2	10.9
9. 2022年8月	CO07 近畿	35.5	11.2
10. 2022年7月	CO07 近畿	29.5	6.0
11. 2022年6月	CO07 近畿	30.8	5.5
12. 2022年5月	CO07 近畿	32.1	9.3
13. 2022年4月	CO07 近畿	33.1	13.7
14. 2022年3月	CO07 近畿	43.4	11.1
15. 2022年2月	CO07 近畿	30.6	-1.4
16. 2022年1月	CO07 近畿	30.2	5.7

<中国>



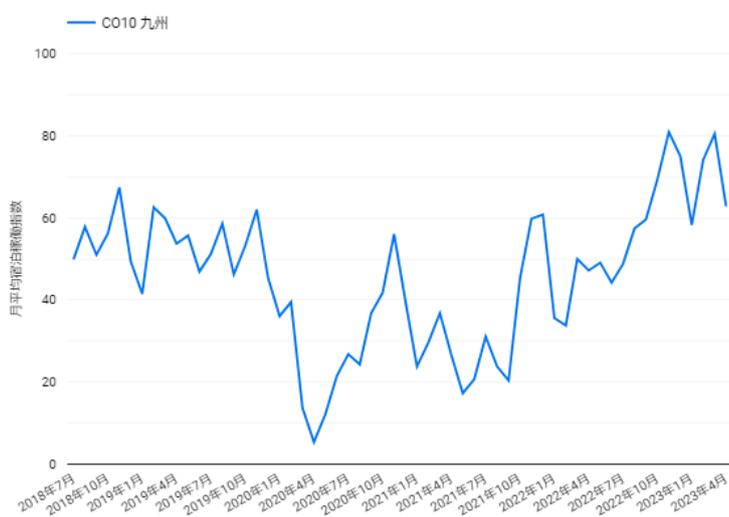
年月	地域	指数	前年差
1. 2023年4月	CO08 中国	61.0	12.8
2. 2023年3月	CO08 中国	73.7	26.6
3. 2023年2月	CO08 中国	58.7	30.5
4. 2023年1月	CO08 中国	46.1	18.6
5. 2022年12月	CO08 中国	62.6	6.1
6. 2022年11月	CO08 中国	76.4	12.4
7. 2022年10月	CO08 中国	69.6	23.4
8. 2022年9月	CO08 中国	53.6	30.4
9. 2022年8月	CO08 中国	55.6	26.1
10. 2022年7月	CO08 中国	43.8	11.6
11. 2022年6月	CO08 中国	43.9	18.7
12. 2022年5月	CO08 中国	49.7	25.2
13. 2022年4月	CO08 中国	48.2	20.9
14. 2022年3月	CO08 中国	47.1	8.5
15. 2022年2月	CO08 中国	28.2	-4.4
16. 2022年1月	CO08 中国	27.5	2.6

< 四国 >



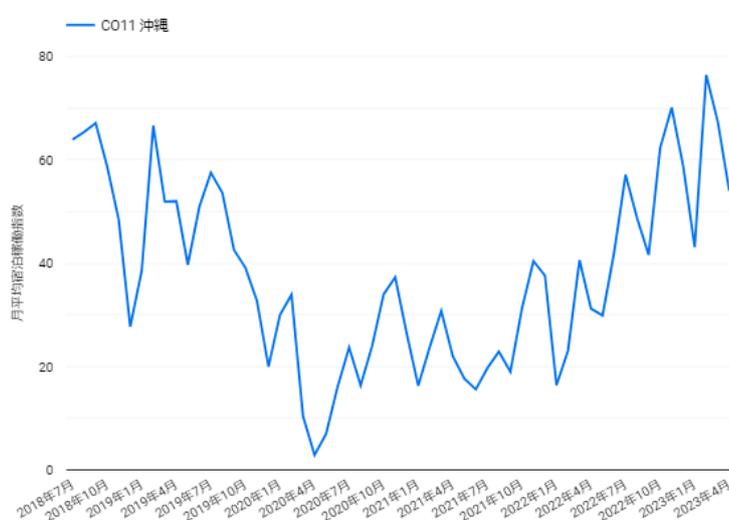
年月	地域	指数	前年差
1. 2023年4月	CO09 四国	55.7	9.8
2. 2023年3月	CO09 四国	75.2	33.8
3. 2023年2月	CO09 四国	59.6	32.2
4. 2023年1月	CO09 四国	46.4	16.1
5. 2022年12月	CO09 四国	64.7	13.4
6. 2022年11月	CO09 四国	75.4	16.1
7. 2022年10月	CO09 四国	65.8	23.3
8. 2022年9月	CO09 四国	49.4	27.0
9. 2022年8月	CO09 四国	72.7	46.8
10. 2022年7月	CO09 四国	57.7	27.2
11. 2022年6月	CO09 四国	48.3	26.1
12. 2022年5月	CO09 四国	53.0	33.8
13. 2022年4月	CO09 四国	45.9	19.6
14. 2022年3月	CO09 四国	41.4	2.6
15. 2022年2月	CO09 四国	27.4	-2.1
16. 2022年1月	CO09 四国	30.3	5.1

< 九州 >



年月	地域	指数	前年差
1. 2023年4月	CO10 九州	62.8	15.6
2. 2023年3月	CO10 九州	80.5	30.5
3. 2023年2月	CO10 九州	74.1	40.3
4. 2023年1月	CO10 九州	58.3	22.7
5. 2022年12月	CO10 九州	75.0	14.2
6. 2022年11月	CO10 九州	80.9	21.1
7. 2022年10月	CO10 九州	69.4	24.1
8. 2022年9月	CO10 九州	59.6	39.2
9. 2022年8月	CO10 九州	57.4	33.6
10. 2022年7月	CO10 九州	48.8	17.7
11. 2022年6月	CO10 九州	44.2	23.5
12. 2022年5月	CO10 九州	49.1	31.8
13. 2022年4月	CO10 九州	47.2	20.6
14. 2022年3月	CO10 九州	50.0	13.2
15. 2022年2月	CO10 九州	33.8	4.1
16. 2022年1月	CO10 九州	35.6	11.8

< 沖縄 >



年月	地域	指数	前年差
1. 2023年4月	CO11 沖縄	54.0	22.8
2. 2023年3月	CO11 沖縄	67.4	26.8
3. 2023年2月	CO11 沖縄	76.4	53.3
4. 2023年1月	CO11 沖縄	43.1	26.7
5. 2022年12月	CO11 沖縄	58.8	21.2
6. 2022年11月	CO11 沖縄	70.1	29.7
7. 2022年10月	CO11 沖縄	62.3	31.1
8. 2022年9月	CO11 沖縄	41.6	22.6
9. 2022年8月	CO11 沖縄	48.7	25.8
10. 2022年7月	CO11 沖縄	57.1	37.4
11. 2022年6月	CO11 沖縄	42.0	26.4
12. 2022年5月	CO11 沖縄	29.9	12.2
13. 2022年4月	CO11 沖縄	31.2	9.2
14. 2022年3月	CO11 沖縄	40.6	9.8
15. 2022年2月	CO11 沖縄	23.1	-0.7
16. 2022年1月	CO11 沖縄	16.4	0.1

4. ゴールデンウィーク（4月29日～5月5日）の宿泊稼働状況

<全国（上位50市町村）>

全国順位	市町村	都道府県	宿泊稼働指数 (203年GW)	2022年 同期間差
1	四万十市	高知県	97.4	+ 2.9
2	足利市	栃木県	94.8	+ 1.2
3	出雲市	島根県	92.9	▲ 0.7
4	高知市	高知県	92.8	▲ 2.1
5	太田市	群馬県	92.7	▲ 3.7
6	米沢市	山形県	91.6	+ 3.4
7	会津若松市	福島県	91.5	▲ 3.2
8	酒田市	山形県	91.2	+ 11.6
9	下関市	山口県	91.1	+ 3.4
10	日光市	栃木県	90.8	+ 0.9
11	焼津市	静岡県	90.7	+ 5.4
12	長浜市	滋賀県	90.3	+ 2.0
13	富士吉田市	山梨県	90.2	+ 2.9
14	足柄下郡箱根町	神奈川県	90.1	+ 1.7
15	那須塩原市	栃木県	89.0	▲ 3.9
16	甲府市	山梨県	89.0	▲ 3.9
17	吾妻郡草津町	群馬県	88.7	▲ 5.8
18	あわら市	福井県	88.7	▲ 6.7
19	鳥取市	鳥取県	87.9	▲ 0.5
20	西牟婁郡白浜町	和歌山県	87.6	▲ 0.9
21	鶴岡市	山形県	87.4	+ 1.1
22	伊豆市	静岡県	87.2	▲ 3.8
23	小山市	栃木県	87.1	▲ 1.4
24	渋川市	群馬県	87.0	+ 6.1
25	松江市	島根県	86.9	▲ 0.3
26	南都留郡富士河口湖町	山梨県	86.5	+ 7.9
27	熱海市	静岡県	86.2	▲ 0.9
28	前橋市	群馬県	86.2	+ 1.6
29	富士市	静岡県	86.2	+ 4.5
30	松本市	長野県	86.1	▲ 0.2
31	高岡市	富山県	85.1	▲ 1.4
32	土浦市	茨城県	85.0	▲ 8.7
33	別府市	大分県	84.8	▲ 0.8
34	仙台市	宮城県	84.7	▲ 2.7
35	伊勢崎市	群馬県	84.6	▲ 3.8
36	石垣市	沖縄県	84.4	▲ 8.6
37	徳島市	徳島県	84.4	▲ 5.6
38	上田市	長野県	84.1	+ 6.0
39	沼津市	静岡県	83.9	+ 0.6
40	富山市	富山県	83.8	▲ 2.8
41	静岡市	静岡県	83.7	+ 6.7
42	彦根市	滋賀県	83.5	▲ 3.9
43	木更津市	千葉県	83.4	+ 2.9
43	伊東市	静岡県	83.4	▲ 5.7
45	丸亀市	香川県	83.3	▲ 5.7
46	御殿場市	静岡県	82.9	▲ 1.1
47	草津市	滋賀県	82.8	▲ 4.6
48	笛吹市	山梨県	82.8	+ 5.2
49	宮古島市	沖縄県	82.7	+ 10.8
50	霧島市	鹿児島県	82.7	+ 2.4

<九州・沖縄・山口（上位 30 市町村）>

九州・沖縄 ・山口順位	市町村	都道府県	宿泊稼働指数 (203年GW)	2022年 同期間差
1	阿蘇市	熊本県	98.3	+ 7.0
2	由布市	大分県	97.1	+ 0.8
3	嬉野市	佐賀県	96.1	+ 6.4
4	下関市	山口県	91.1	+ 3.4
5	日南市	宮崎県	91.0	+ 14.7
6	菊池郡大津町	熊本県	90.7	+ 11.7
7	天草市	熊本県	88.0	▲ 3.4
8	防府市	山口県	86.7	+ 0.4
9	雲仙市	長崎県	85.5	+ 3.0
10	唐津市	佐賀県	85.1	▲ 4.0
11	別府市	大分県	84.8	▲ 0.8
12	石垣市	沖縄県	84.4	▲ 8.6
13	日向市	宮崎県	84.1	+ 7.7
14	京都郡苅田町	福岡県	83.4	+ 25.9
15	中津市	大分県	82.8	▲ 4.8
16	宮古島市	沖縄県	82.7	+ 10.8
17	霧島市	鹿児島県	82.7	+ 2.4
18	中頭郡北谷町	沖縄県	81.8	+ 11.7
19	佐世保市	長崎県	81.4	▲ 5.0
20	山口市	山口県	80.4	▲ 2.3
21	島原市	長崎県	79.8	▲ 7.0
22	鹿児島市	鹿児島県	79.7	▲ 4.3
23	熊本市	熊本県	78.9	+ 5.2
24	国頭郡本部町	沖縄県	78.8	+ 20.4
25	日田市	大分県	78.5	▲ 6.2
26	薩摩川内市	鹿児島県	77.5	+ 8.7
27	国頭郡恩納村	沖縄県	77.4	+ 16.8
28	出水市	鹿児島県	76.6	+ 6.3
29	佐伯市	大分県	75.7	+ 21.5
30	鹿屋市	鹿児島県	75.7	+ 21.2

注) 2023年5月9日時点の推計値

宿泊稼働指数は4月29日～5月5日における日次（原数値）の平均値

全国順位は2018年以降の全期間における最大空室数が300以上の市町村が、九州・沖縄・山口順位は九州各県・沖縄県・山口県内における2018年以降の全期間における最大空室数が150以上の市町村が対象

九州・沖縄・山口ランキングの下線を含む市町村は最大空室数が150以上300未満の市町村（全国ランキングに記載なし）

資料) 九経調 DATASALAD